

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年12月21日
事業者名:	東栄製紙工業株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	1) エネルギー費削減を進めている。 2) 機密古紙や市内回収古紙等を原料にした、段ボール原紙の生産している。また、段ボール原紙を基に、包装紙を開発し、ビニール袋の代替として生産・販売を開始している。 3) 古紙に含まれるビニール類や生産工程で発生するペーパースラッジ等を混ぜて、脱水固形化し、非化石燃料(RPF)を自社で生産している。また、重油やLPGの代替として、RPFを使いバイオマスボイラで燃焼し、蒸気を利用している。また、2024年に2台目のバイオマスボイラ増設、2025年2台目のバイオマスボイラ本格稼働予定。(2025年CO2削減量2,827t-CO2/年予定)	④質の高い教育をみんなに、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑩気候変動に具体的な対策を	1) エネルギー原単位削減：対前年度(2022年度)1%削減 2) 段ボール原紙生産：年間約32,000t 3) 包装紙の開発・生産・販売：本年約2,600袋の生産・販売 4) 自社RPF75t使用によるLPGの低減	指標	1) 古紙100%使用の段ボール原紙・包装紙(2024年目標：2023年対比1.05%) 2) エネルギー原単位削減(2024年目標：2023年対比1%削減) 3) CO2削減(2025年目標：2,827t-CO2/年)
				目標	1) 古紙100%使用の段ボール原紙・包装紙(2025年目標：対前年比1.05%) 2) エネルギー原単位削減(2025年目標：対前年度1%削減) 3) CO2削減(2027年目標：2,827t-CO2/年)
社会	1) インターンシップの受入増を通じてSDGsに繋がる業務を体験する。 2) 地元小中学生を対象にした工場見学を行い、SDGsの取組みを知ってもらう。 3) 近隣で産廃処理しているプラスチック、ビニール類を弊社で脱水固形化(RPF)できる体制を構築し、地産地消でエネルギー化することで、化石燃料化及びCO2削減に繋げる。	④質の高い教育をみんなに、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑩産業と技術革新の基盤をつくろう	1) インターンシップ受入：2023年 2校(阿木高校、中津川工業高校) 2) 恵那市内の資源回収(工場見学は今後、計画予定) 3) 産廃中間処理事業の取得予定	指標	1) インターンシップ受入増 2) 恵那市内の資源回収増 3) 産廃中間処理事業の取得予定
				目標	1) インターンシップ受入増：目標3校以上/年 2) 恵那市内の資源回収増：目標対前年10%アップ 3) 産廃中間処理事業の取得予定：目標2024年内に取得
経済	製造現場では液面計・濃度計・流量計等の計装機器を設置し、『見える化』を進めていくことで、業務効率化を進めている。また、ソフト面では多能工化により、1人の従業員が複数の業務を担えることで、特定の従業員しかできない業務をなくす取り組みを進めている。(業務負担の平準化、組織のチームワーク向上、業務の可視化とリスク回避)	⑧働きがいも経済成長も、⑩産業と技術革新の基盤をつくろう	1) インフレ手当支給 2) 業績賞与(年2回の定期賞与以外) 3) 基本給アップ 4) 報奨金制度	指標	一人ひとりの潜在能力アップ、人材から人財への経営により組織力を向上、収益拡大による社員への還元、生活基盤の向上(基本給アップ)
				目標	社員の基本給アップ：2024年から3年間、各年5%アップ(3年間で計15%アップ)

ガバナンス	チェック	
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 社内では達成目標を各課で掲げ、年始の経営方針発表会、年4回の研修会にて達成目標の進捗や今後の方針・取り組みの進捗や今後の予定について報告を行い、情報共有している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 HPは現在更新中。会社のHP中にSDGsの取組みを本社工場の掲示板に掲示し、社外の方が閲覧できるように掲示しました。